



炭 竈 ふく代 議員

発達障害の早期発見のため 5歳児健診の推進を

問 発達障害【】の早期発見のための5歳児健診の導入、推進について聞く。

行動や認知機能の遅れ等が低年齢で現れる脳機能障害で、広汎性発達障害（自閉症、アスペルガー症候群等）や注意欠陥多動性障害、学習障害等の総称。17年には発達障害者支援法が施行された。

(1) 市の乳幼児健診は3歳児後は就学時と、期間が開き過ぎである。
鳥取、栃木県では県内全市町村が5歳児健診を実施しており、鳥取県で9.3%の児童が発達障害の疑いがあると診断された。
しかし、こうした児童の半数以上は3歳児健診では問題は指摘されておらず、広汎性発達障害は5歳ぐらいで見つかることが多い。
5歳児健診を導入してほしいがどうか。

(2) 3歳児健診の内容
(3) 3歳児健診で発達障害が発見された場合の指導

健診事後教室で対応 現在考えていない

答 健康推進課長

(1) 3歳児健診で障害の兆候を見逃さないよう注意を払い、発見に努めている。
その後は保育所での日常生活や集団行動で気付く点等を保育士が保護者に伝えられている。
5歳児健診は現在考えていない。
(2) 総合的な健康診査を実施し、指導、相談を行っている。
スタッフは医師、

歯科医師、臨床発達心理士等の専門有資格者で行っている。

(3) 健診事後教室「わいわい教室【】」を実施している。その後、支援が必要な場合は同教室の延長や保健師による家庭訪問、母子通園施設のびのび園での指導や適応訓練を行っている。

保健師、保育士、臨床発達心理士をスタッフとし、半年で12回実施。子どもの発育、発達を確認、問題点の変化を掌握し個々に合わせた支援を行う。

妊婦健診の完全無料化を

問

妊婦健診の完全無料化について、県内では(国)が望ましいとする(14回の助成を7市町村が実施しており、大府市では加えて産後健診1回も無料で受けられる。
国の動きに合わせて検討するならば、完全無料化になるまでの時期だけでも、第2、3子を出産する妊婦の健診を14回無料にしてはどうか。

21年度から7回に 増やす考えである

答 市長

21年度から(現在の)5回から7回という形で妊婦健診を受けてもらおうと考えている。
国の(妊婦健診関連)予算の成立を確認次第、いろんなことを考えていきたい。



▶現在実施されている3歳児健診